

# 「鳥取県西部地震」を考える 鳥取県民大会

～西部地震を乗り越えて～

## 報 告 書



(会見小学校プレハブ校舎完成)

これからも、「ますます元気です鳥取県」

米子コンベンションセンター (ビッグシップ)

平成13年10月6日 (土)



# 「鳥取県西部地震」を考える鳥取県民大会

開会挨拶

鳥取県知事 片山 善博





パネルディスカッション



片山

コーディネーター 片山善博  
鳥取県知事



坂本

パネリスト 坂本昭文  
西伯町長



矢野

パネリスト 矢野博司  
中ノ海2区地震被災復興委員会委員長



坂

パネリスト 坂本達美  
日野町下榎農用地利用改善事業組合長



川

パネリスト 川端 広  
株式会社カワバタ印刷代表取締役



松

パネリスト 松田暢子  
日野町文化センター所長兼図書館長



## 小中学生による復興への取組み発表

- 智頭町立山郷小学校（4年生）  
「手作り地域防災マップ」～智頭町・山郷の防災を考える～



- 溝口町立日光小学校添谷分校（3年生）  
「体育館が新しくなったよ！」～地震からのこの1年～



- 日野町立日野中学校（3年生）  
「ボランティア活動を通じて学んだこと」





## 復興モニュメント制作発表

鳥取県立米子高等学校（3年生）



## 復興宣言

日野町立根雨小学校（3年生）  
鳥取県知事 片山善博



（読売新聞 提供）



## 復興モニュメント除幕式

米子コンベンションセンター1階 エントランスロビー

復興モニュメント「まなざし」 ～あすへの希望～





## 復興パネル展

米子コンベンションセンター 情報プラザ





## はじめに

平成12年10月6日に発生した「鳥取県西部地震」は、幸い死者こそありませんでしたが、西部地域を中心に甚大な被害をもたらしました。

しかし、県民の皆様の御努力のもと、被災された方々をはじめ市町村、県が一丸となって取り組み、復興が着実に進んでおり、誠に喜ばしく思っています。

そして、この貴重な教訓を決して風化させることなく、後世に活かしていくことが重要であることから、地震発生から1年に当たり、昨年10月6日に『「鳥取県西部地震」を考える鳥取県民大会～西部地震を乗り越えて～』を開催いたしました。

多くの県民の皆様に御参加をいただき、復興に尽力されている各方面の方々の取組や小中学生、高校生の復興への思いを紹介し、最後は、参加者全員が気持ちを結集して力強く「復興宣言」を行うことができました。

ここに、大会に御参加、御協力をいただきました皆様に改めて心からお礼申し上げます。

今後とも、貴重な教訓を風化させることなく、一日も早く復興を進め、ますます明るく活気のある「元気いっぱい！鳥取県」の実現に全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様に、一層の御協力、御支援をお願いするものです。

この報告書が、県民の皆様の復興や防災への取組に少しでもお役に立てば幸いです。

平成14年3月

鳥取県知事 片山善博







## プログラム

- 開 会 ----- 13:30  
復興ビデオ上映
- 挨拶 ----- 13:35  
鳥取県知事 片山善博
- パネルディスカッション ----- 13:40
  - ・テーマ：「西部地震を乗り越えて」～明るく元気な地域の再生～
  - ・コーディネーター  
片山善博【鳥取県知事】
  - ・パネリスト  
坂本昭文【西伯町長】  
矢野博司【中ノ海2区地震被災復興委員会委員長】  
坂本達美【日野町下榎農用地利用改善事業組合長】  
川端 広【株式会社カワバタ印刷代表取締役】  
松田暢子【日野町文化センター所長兼図書館長】
- 小中学生による復興への取組み発表 ----- 15:30
  - ・「手作り地域防災マップ」～智頭町・山郷の防災を考える～  
発表 智頭町立山郷小学校（4年生）  
前田典子、藤原佳奈、玉木陽子、小林 楓、青木和也、  
大藤絵梨奈、藤原淳人
  - ・「体育館が新しくなったよ！」～地震からのこの1年～  
発表 溝口町立日光小学校添谷分校（3年生）  
本庄直人、森美沙希
  - ・「ボランティア活動を通じて学んだこと」  
発表 日野町立日野中学校（3年生）  
上田紀穂
- 復興モニュメント制作発表 ----- 16:15  
「復興への思いを込めて」  
発表 鳥取県立米子高等学校総合学科（3年生）  
門田奈緒美、小谷壮之  
制作 鳥取県立米子高等学校総合学科（3年生）  
デザイン 門田奈緒美  
制作者 小谷壮之、判澤拓人、柏木麗子、前田美香、泉 奈央  
門田奈緒美、高梨えりか、寺本 愛、冨永知穂
- 復興宣言 ----- 16:35  
「やさしい心をありがとう」  
日野町立根雨小学校（3年生）  
中原早紀、中原美咲、袴田珠理  
鳥取県知事 片山善博
- 復興モニュメント除幕式 ----- 16:50



## 開会挨拶



鳥取県知事 片山善博

皆さん、こんにちは。本日は、この県民大会を開催いたしましたところ、休日であるにもかかわらず、多くの皆さんにお集まりをいただきまして、大変ありがとうございます。

今ビデオで見ていただきましたが、ちょうど1年前の10月6日のこの時刻、当地では本当に思いも寄らない大きな地震に見舞われたわけであります。私も1年前の10月6日のこの時刻というのは、終生忘れられない日になると思います。

といいますのは、私、知事に就任しましてから、防災・安全の地域づくりというのは、これは県政の中で何よりも優先すべき事項であるということで準備をしてまいりました。もちろん、地震があるだろうということを具体的に予測していたわけではありませんが、ともあれ、防災対策というものに力を入れなければいけないということで、マニュアルの点検をやりましたり、自衛隊などの防災関係機関との連携調整を図ること、それから、本当に実の上がる防災訓練などもやってまいりました。

昨年の7月31日には、この米子市で地震の訓練もやりました。その際には、最大震度6強、マグニチュード7.2、震源地島根県の東部という、そういう想定で訓練をやったのであります。震源地は若干予想が外れて、島根県東部ではなくて数キロ東の鳥取県西部でありました。マグニチュードは7.2ではなくて、実際は7.3でありました。最大震度は6強ということで、ほぼ予想どおりの地震が発生してしまったわけでありますが、そういう準備をしておりまして、実は1年前の10月6日というのは、建設業協会の皆さんといざというときの災害支援



協定を結ぶ日でありました。それが10月6日の1時半。これで大体事前の準備は終わるといふ、そういう日であったわけでありまして、まさしくその時刻に大きな地震があったということは、大変衝撃的でもありましたし、象徴的でもあったわけでありませう。

爾来1年、あつという間に経過をいたしました。本当に月日のたつのは早いものだと思います。10月6日、7日のころは、これから一体どうなるのであろうか、この被災地は本当に復興するのであろうかと途方に暮れたこともありました。1年たってみますと、本当に大勢の皆さんの努力とご協力によりまして、今日まで復興を遂げることができました。まだまだ課題はたくさん残っております。しかし、幸いなことに、1人の人命を失うこともなく、みんなで力を合わせて復興に励むことができた。これは不幸中の幸い、何よりのことであつたと思います。

私たちは、大変手痛い打撃を受けました。しかし、これは得がたい教訓でもあります。この得がたい教訓を決して風化させることのないように、我々はこれを後世に語り継がなければいけない、この教訓というものをこれからの日々の安全のために生かしていかなければいけない、こう思っております。

きょうのこの1年目を迎えたこの日に、この震災に遭つたこの場所で、こういう県民大会を皆さんとともに開くことができましたことを、私は大変うれしく思っております。ぜひ、今日のこの大会がこれからの鳥取県、そして鳥取県だけではなくて広く我が国全体の防災、安全な地域づくりに大きく貢献することを願ひいたしまして、開会に当たりましての主催者としてのごあいさつといたします。本日は本当にありがとうございます。(拍手)